

平成 23 年 3 月 2 日

保護者の皆様へ

広島市立口田東小学校

校長 川 崎 由 紀

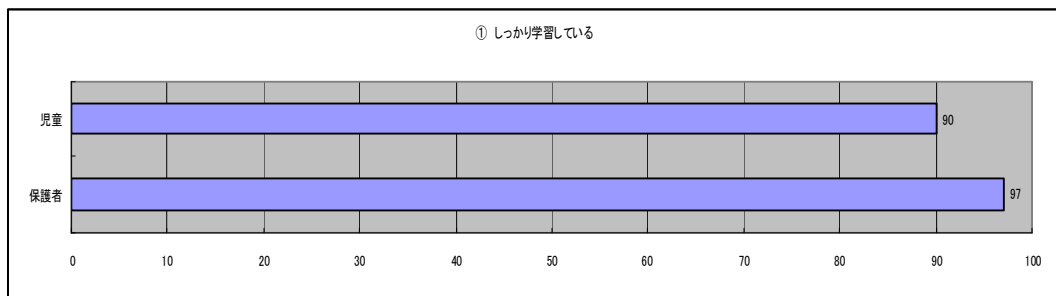
平成 22 年度 学校評価 結果と考察

早春の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

本年度も、本校の教育にご理解とご協力をいただきましてありがとうございました。

皆様にご協力いただいたアンケートを生かして、今後も、地域に信頼され期待に応える学校づくりに取り組んでいきます。

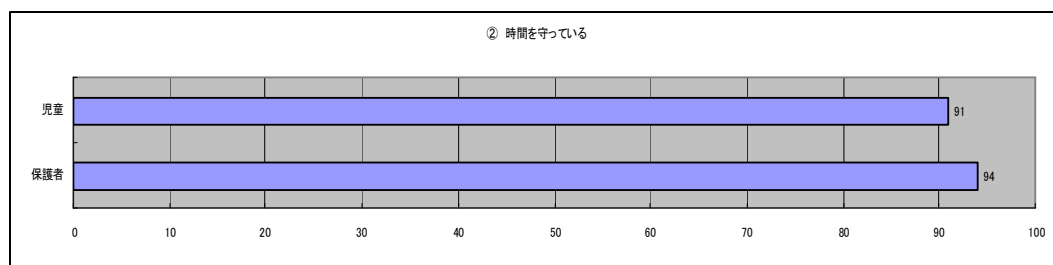
① 子どもたちは、しっかり考えて学習をしている。



児童・保護者共に、しっかり学習していると感じる割合は90%以上、特に保護者においては97%と高い評価をいただいた。

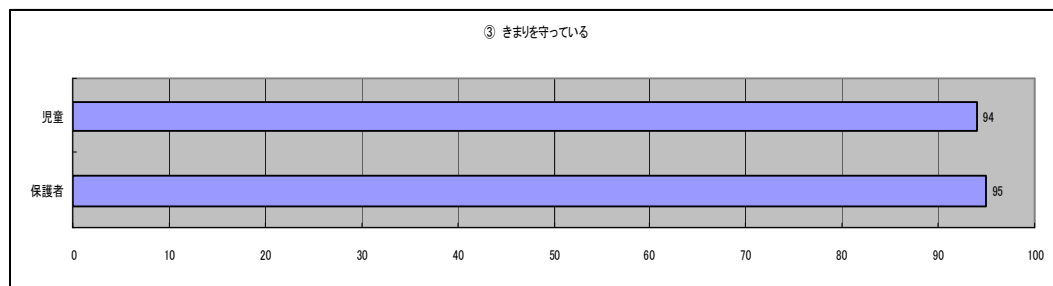
今年度は「論理的に考える子どもの育成 ～思考を深める授業作り～」を研究主題として、算数科、言語・数理運用科を中心に研究してきた。思考が深まる授業となるよう各学年で研修を重ね、学校全体で取り組んできた。子どもたちの学習意欲の向上や教師の授業改善等の成果はあったが、思考の深まりについてはまだ課題は残る。来年度も、さらに思考力を深めることができるよう、研究を継続していきたい。

② 子どもたちは、時間を守っている。



児童・保護者共に、90%以上と高い評価をいただいた。子どもたちの時間の使い方を見取り、全教職員で模範を示し同一の指導をするよう取り組んできた。子どもたちは、チャイムの合図を守り、授業や休憩や掃除等を行うことができるようになり、落ち着いた生活態度が見られる。

③ 子どもたちは、きまりを守って生活をしている。



児童・保護者共に90%以上と高い評価をいただいた。

学校では、子どもたちの安全を守るために、日々の指導を大切にしている。学校生活の中で子どもたちの実態を把握し、教職員の共通認識のもと、指導をしてきた。また、毎月の学校朝会では、生活目標を確認し全体指導をすることで、重点的な指導もしてきた。

登下校においては、地域や保護者の方のご協力をいただきながら子どもたちの安全を見守ってきた。また、放課後の地域での様子についても、地域や保護者の方からたくさんの情報をいただいたおかげで、地域だけでなく学校でも指導でき、子どもたちの安全を守ることへとつながった。今後もこのような家庭・学校・地域の連携を大切にしていきたい。